

# VIVID LETTER

No. 3 1

発行 2023/9/1

|                |   |
|----------------|---|
| 日々の作業を支える工夫    | 1 |
| 第16回通常総会報告     | 2 |
| 研修報告           | 2 |
| 各事業所報告         | 3 |
| ひとこと通信/今回のいちおし | 4 |



“VIVID”は高次脳機能障がい者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

特定非営利活動法人 VIVID(ヴィヴィ)  
〒161-0033  
新宿区下落合 4-20-16 ヨルビ目白 103  
TEL : 03-5849-4831 FAX : 03-6908-3364  
Eメール hbd-vivid@vivid.or.jp  
HP <http://www.vivid.or.jp>  
発行責任者 北村とし子

## 日々の作業を支える工夫

VIVID が就労継続支援 B 型事業所「フレッシュスタート目白(フレスタ)」をスタートさせてから 5 年以上の歳月が流れました。「障がいがある人もない人も基本的人権にもとづいてお互いの個性を尊重し、相互に助け合える社会を共につくっていく」という理念を常に確認しながら、利用者それぞれの個別の障がいを理解し、各々に寄り添った支援を心掛け歩んできた 5 年間ともいえます。

多様な障がいのある一人ひとりに合わせた支援をおこなうには、一人ひとりの障がいをきちんと理解することから始まります。アセスメント情報をもとに、そこから見えてくるさまざまな課題について、日々の作業や生活の中での解決をめざしてきました。

①記憶障がいのある利用者が、人の顔と名前が一目でわかるように、利用者とスタッフの顔と名前を、ホワイトボードに貼りだす



②気持ちを言葉で表現するのが苦手な人も、自分の気持ちに近い表情を選んで伝える。気分表には、いろいろな表情が並んでいる



③穴あけ、チラシ折りなど片手で作業できるように工夫した道具。利用者が作ってくれた

フレッシュスタート目白  
生活支援員 北古賀克美

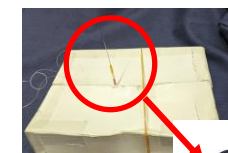
今号では、日々の作業を支えるために、職員が知恵を絞って生み出してきた工夫を紹介します。

- ①顔写真入りネームプレートの貼りだし(写真左上)
- ②気分調べ表を使う(写真真ん中上)
- ③片手で作業できる道具(写真左下)
- ④壁に貼られたエアクッション(写真右)
- ⑤ビーズ製作用の道具(次頁写真)
- ⑥動線や座席の工夫

歩行中に他の人との体の接触が不安な人のために、人の行き来の多い通路を通らずに過ごせるような座席と荷物置き場を配置している

④視覚障がいのある方が、一人でトイレの便座に座れるように、トイレ入口から便座付近までを誘導するエアクッション(いわゆるプチプチ)を壁に沿って貼り付けた





⑤視覚障がいのある方や片麻痺の方がビーズを針に差し入れしやすいように製作した道具。写真上が使用時の状態。写真左下は針を挟むための仕掛けを開いた状態



他にも多くの工夫がフレスタにはあります。VIVID の役割である高次脳機能障がい者への支援をはじめ、利用者一人ひとりの強み

をどう生かしていけば各々の課題解決につながるのか、何がそれぞれの支援に必要なのか、職員が一丸となって支援力の向上を意識しながら各利用者の課題解決に取り組んできました。

居場所としての役割の大きいフレスタではありますが、一般就労をめざす方もいます。フレスタに通う意味も自ずと違ってきますが、ここに通うすべての利用者にとって、フレスタが今を生きる大切な場所だと思っていただけるよう日々努めていきたい、と切に思うこの頃です。

## 第 16 回通常総会報告

6月16日に通常総会を開催。VIVID 会員のみなさまのご協力で無事、終了しました。

事業活動報告、決算報告では、慢性的な職員不足の中、わが法人の強みであるチームワークの良さを発揮し、法人理念とも通じる SDGsの方針に沿った支援に力を注いだこと、経営の安定化とあわせ事務所の拡大が実現できたことなど、成果を確認することができました。

今年度も昨年度の基本方針を踏襲しつつ、策定予定の第4次長期計画に大きな夢を描いていきたいと思います。

また、「障害者差別解消法」が改正され、事業者に対し「合理的配慮」が義務化されるなど、障がい者の環境も変わりつつあります。

みなさまには変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

(理事長：北村とし子)

## 研修実施報告

法人職員全員で、3ヶ月に1回行う合同スタッフ会議の中で、研修を行っています。

7月の研修では、「ラインケア」について動画で学びました。

「ラインケア」とは「職場のメンタルヘルス対策において、管理職が、部下の心の健康をケアし、職場環境を改善していく取り組み」です。

通常は管理職が学ぶものですが、「管理職」を「職員」、「部下」を「利用者」と置き換えると、就労継続支援B型での支援で十分役立つ内容なので、全員で学ぶことにしました。

印象的だったのは、人は相手に言葉で伝える時に「事実」「考え」「気持ち」「関係性からの期

待」の4つを伝えようとし、このうち「気持ち」「関係性からの期待」が伝わると「相手に理解してもらえた」と感じるという話でした。ただ、「気持ち」や「期待」は言葉にしないことも多いので、「事実」や「考え」だけを話す相手からも汲み取ることが大切ということです。

利用者にとってフレスタは職場なので、気持ちよく働けるように、今後も職員のスキルアップを図っていこうと思います。

(フレスタ管理者：遠藤伸)

## 就労継続支援 B 型事業所 フレッシュスタート目白

フレスタの活動風景をお届けします。(管理者:遠藤伸)

### 外出プログラム

今年度は、少人数のグループで外出するプログラムを行なっています。希望するテーマごとに分かれ、行き先や交通手段をメンバーで話しあって決めました。今回は既に出かけた2グループを紹介します。

#### 【水族館グループ】

マクセルアクアパーク品川に行きました。水槽の中で泳ぐ魚たちは涼しげです。



#### 【外食グループ】

焼肉を食べに行ってきました。やはり食の楽しみは他では代えられないですね。「デザートも食べたい!」と、更にこの後、ケーキを食べに行く方もいました!

### 健康を考えた栄養の話を聞く

新宿区の「ふれあいトーク宅急便」という区職員の派遣事業を利用して、落合保健センターの栄養士さんの話を伺いました。フレスタメンバーは一人暮らしの方が多いため熱心に話を聞いていました。質問もいっぱい出ました。やはり食事は栄養バランスが大切ですね!



### 展示即売会のお手伝い



コーヒー豆選別の仕事の依頼先から、展示即売会のお手伝いの仕事を2日間いただきました。1日2時間でしたが、いつもと違った環境でのお仕事は刺激にもなり、参加者一同も楽しめた様子でした。

## 高次脳機能障害相談支援 VIVID

### 残される当事者に、家族ができること

“8050問題”が気になるのは私だけではないと思います。何から手を付けていけば良いのやら…ですが、すぐ頭に浮かぶのはお金です。どうすればお金を有効に引継ぐことができるのか? 成年後見制度は費用がかかるし…と躊躇し、課題を先送りしがちです。

相談の中で一番気がかりなことは、介護者である家族は日々懸命にサポートされ、当事者はその生活を当然のこととして不安も不満も持たず過ごされ、その生活がいつまでも続くと思われているようにみえることです。人は誰も辛いことは避けがちで、一人になることは考えないように

していると思います。自然に共依存的な関係が形成されているともいえます。

しかし、「その時」は突然来るかもしれません。どのようにお金を引き継いでいくかも含め、各家庭で準備しておかなければなりません。相談専門員として、これから一人ひとりの将来の不安を取り除くことができるように、支援の視点を広げていかなくてはと感じているところです。

そこで、提案!!

まずは親(介護者)自身のエンディングノートを作ってみるのはどうでしょう。

(管理者・相談支援専門員:太田三枝子)

## ひとこと通信

フレッシュスタート目白（フレスタ）の利用者さんのコーナーです。

フレッシュスタート目白に通所するようになり、ちょうど1年が経ちました。初めて来たときの印象は、とても賑やかで馴染めるか不安でしたが、今では雰囲気慣れて、楽しく通うことができています。

フレッシュスタート目白での好きな業務は、リユースショップでの業務です。以前、接客の仕事をしていたこともあり、実際に店頭に立ってお客様とコミュニケーションをとりながら接客を行うことにとてもやりがいを感じています。

また、かわいらしいものを作ることが好きなので、ビーズを使ってアクセサリーやマスクチェーンなどの商品を製作する作業にも楽しく取り組んでいます。商品が売れるかどうか不安ではありますが、自分で製作したものが売れるのはとても嬉しいです。

アイロンがけなど苦手な作業もありますが、今後はできない作業をなくして一通りの作業ができるようになっていきたいです。

（榎本明美）



ビーズ製作中の榎本さん（左）  
完成したビーズアクセサリー（右）

## ご寄付の報告

この紙面を使って、ご寄付の報告を行っています。

### ●VIVID へのご寄付

VIVID LETTER 前号の報告後・2023年3月1日～2023年7月31日までいただいた寄付金の合計は、延べ26人、143,000円でした。

### ●フレッシュスタート目白へのご寄付

フレスタは、毎日、たくさんの品物をご寄付いただいています。

2月82件、3月105件、4月117件、5月162件、6月142件、7月118件でした。

## 販売会のお知らせ

新宿区障害者福祉事業所等ネットワーク主催販売会にフレスタも出店します。

9/27(水)、28(木) 10:00～20:00

伊勢丹新宿店地下1階食品売り場内

## ご寄付のお願い

ご協力はいつでも受け付け中！  
よろしくお願いします。

### 【銀行口座への振込の場合】

三井住友銀行 国立支店 普通 7854639

ゆうちょ銀行 記号 10130 番号 91768901

他金融からのお振込みの場合

店名 〇一八(ゼロイチハチ) 店番 018  
普通 9176890

### 【郵便振替口座への振込の場合】

郵便振替口座 00130-7-780312

名義・加入者名はいずれも特定非営利活動法人 VIVID

## 今回のフレスタいちおし 平面ビーズ

最近、ビーズのバージョンを増やそうと、平面ビーズづくりを始めました。まだ練習の段階ですが、取り組んでいる人は楽しく作品作りを行っています。

上記記事の写真が、ちょうど平面ビーズを作製しているところです。

ただ、単なる平面ビーズではなかなか買ってもらえないのではないかと思います、何か工夫する必要があります。

ブックマークにどう？

生地縫い付けて何かの製品にする？

と、試行錯誤中です。

何か良いアイデアがあったら、ぜひお寄せください!!



冊子を参考に組み立て中

## 編集後記

昨年末、短期の非常勤職員を初めて公募。引き続き、常勤職員の公募に初めて挑戦。8月下旬に1人入職と相なった。人手不足がいわれ続ける福祉業界。ケアの人材なくして未来はない。福祉に税を！ただし、複雑な加算制度以外で！（金尾）